

～在ハンガリー日本大使館～

2010年3月

— Monthly Review —

全 20 頁

## 政治・経済月報(2月号)

## 政治・内政

- 4月の総選挙に向け、各政党とも選挙キャンペーンを活発化。
- 春の国会会期終了、バイナイ首相が在任10ヶ月間の実績を総括。

## 政治・外交

- バラージュ外相の中国訪問を始めとし、要人往来が活発に行われた。
- V4首脳会合の機に近隣諸国首脳も交えてV4拡大エネルギーサミット及びドナウ・サミットがブダペストにて開催された。

## 経済・社会

- 社会問題・労働省が計21億フォリントの雇用創出プログラムを実施。
- パクシュ市の原子力発電所の設備拡張の入札に日系2社を含む4社が関心。
- 12月の鉱工業生産は前年同月比+1.0%(調整前)、2009年通年では前年比-17.7%。
- 1月の自動車販売台数は前年同月比50.3%の下落、2009年通年では前年比60.5%の下落。
- 中央銀行によると、2010年のGDPは前年比-0.2%、年平均のインフレ率は4.4%の見通し。
- 中央銀行は、基準金利を25bp引下げて体制転換後最低水準の5.75%に。

○インフレ率	(y/y)	(2010年1月)	6.4% (食品: 2.9% エネルギー: 4.0%)
		(2009年平均)	4.2% (食品: 4.4% エネルギー: 8.2%)
○賃金上昇率	(y/y)	(2009年12月)	0.0% (民間: 1.4% 公的: -2.4%)
		(2009年平均)	0.5% (民間: 4.3% 公的: -7.9%)
○鉱工業生産	(y/y)	(2009年12月)	+1.0%
		(2009年平均)	-17.7%
○失業率(15-74歳)		(2009年11月～ 2010年1月平均)	10.8%
○政策金利		(2010年2月末)	5.75% (2月22日に0.25%の利下げ)
○10年国債利回り			7.69%
○為替相場	(月中平均)	・1ユーロ	= 271.19 フォリント
		・1ドル	= 198.08 フォリント
		・1フォリント	= 0.46 円

## 《今月のトピックス》

■ **I. 内 政**

1. 4月総選挙に向けた各政党の動き
2. ブダペスト交通会社（BKV）関連のスキャンダル
3. 公教育における差別待遇は不当：訴えられた教育文化相
4. 自然保護区に駐車場建設計画：ドゥナケシの泥炭湿地
5. 反ファシズム集会：ブダペスト「解放」から65周年
6. 国家防衛大学の現職学長、恐喝容疑で逮捕
7. 国会会期終了：首相の総括とホロコースト禁止法案可決
8. 共産主義独裁の犠牲者追悼の日

■ **II. 外 交**

1. バラージュ外相の中国訪問
2. バイナイ首相のエジプト訪問
3. スロバキア改正国語法をめぐる動き
4. ヴェスターヴェレ独外相のハンガリー訪問
5. V4首脳会合と関連会議の開催
6. ショーヨム大統領のポーランド訪問
7. ドナウ・サミットの開催

■ **III. 経 済**

1. スロバキアとのガス・パイプラインの準備が進展
2. 観光産業は3～4%成長の見込み（2010年）
3. 資産税は国内の自動車の2.5%に影響
4. 社会問題・労働省が雇用創出プログラムを開始
5. パクシュ市の原子力発電所拡張に4社が関心
6. 鋳工業生産：12月に1%増加、通年では17.7%下落（2009年）
7. パンノニア・エタノール・プロジェクト加速化
8. バイナイ首相、エジプトにナブッコ・パイプラインへのガス供給を要請
9. OECD、2010年ハンガリーの財政赤字はGDP比4.1%
10. CPI：1月に6.4%上昇
11. GDP：第4四半期は前年同期比-4%、通年では前年比-6.3%（2009年）
12. IMF・EU、政府の経済安定化努力は評価できるが更なる対策が必要

13. 一般政府債務残高：2009年末にGDP比78.3%
14. 経済相、ハンガリーはEU補助金を有効活用
15. ダイムラー、ハンガリー工場での雇用を加速
16. 1月の新車販売台数、前年同月比-50.3%
17. 金融監督庁長官、不良債権が2010年は更に増大へ
18. ブダペスト市がfDi誌の中・東欧のトップ10都市ランキングで3位に
19. 基準金利を25bp引き下げて5.75%に
20. 中央銀行、2010年のGDPを0.2%下落、CPIを4.4%と予想
21. 2009年のハンガリー人口の自然減の半分を移住が相殺
22. バイナイ首相、ガス供給トライアングルの設立を提唱
23. 中銀、2010年の財政赤字は準備金を凍結すれば4%（対GDP）と予測
24. 11月～1月の失業率が10.8%に上昇

#### IV. その他

- ・月の選挙・支持政党に関する世論調査
- ・月の為替・金利動向
- ・主な出来事

※本資料は当該月間の  
ハンガリー紙等の報道  
をベースにとりまとめた  
ものです。

## I. 内 政

### 1. 4月総選挙に向けた各政党の動き

4月の総選挙（第1回投票11日、第2回25日）を控え、有権者への投票案内と推薦人カードの発送が8日に始まった。現行選挙制度では、小選挙区での立候補予定者には750名分以上の推薦人カードの収集が義務付けられており、各政党の立候補者及び支援者の間で1枚でも多くのカードを集めるための鏝迫り合いが展開された（3月18日で締切）。

#### (1) 社会党

20日午前、社会党はブダペスト市シマ・ホールで選挙キャンペーンのオープニング・セレモニーを開催した。メシュテルハージ・アッティラ次期首相候補が「新しい世界観を持った新しい候補」として「体制転換の夢を実現するために全身全霊を捧げる」決意を表明した他、レンドヴァイ党首、グラーフ農業・地方開発相、コヴァーチ欧州委員らが講演した。

#### (2) フィデス

5日、オルバーン党首による年次所信演説が行われた。同党首は、国家が取り組むべき重点分野として雇用、家庭、家族、医療、治安を掲げ、特に雇用については、今後10年間で100万人分の創出を目指すことに言及した。また、名指しは避けたものの、「国会の内と外で活動している2つの極端な勢力」、すなわち社会党とヨッビクに対する批判を展開した。

#### (3) ハンガリー民主フォーラム

(イ) 7日、ボクロシュ次期首相候補の所信演説が行われた。同候補は、ハンガリー民主フォーラム(MDF)が国内で唯一実現可能な選挙公約を掲げている政党であることをアピールし、「賢い小国」として「強力な金融機関」を育成することこそ、目下とるべき道であると論じた。なお、同候補は、最近の人気調査（最も首相に相応しい次期首相候補）においても、社会党のメシュテルハージ候補とヨッビクのヴォナ党首を押さえ、首位フィデスのオルバーン党首の後2番手に付ける健闘を見せている。

(ロ) 1月、自由民主連盟(SZDSZ)との選挙協力を発表したばかりのMDF(既報:当館月報2010年1月号5-6頁)では、ボロシュ元首相の離党(1月25日)以後も、サボー・モションマジャローヴァール市長、ネーメト・ブダペスト市議会議員ら、党の方針に不満を抱く古参党員の離党表明が相次いだ(2日)。これに対してダーヴィドMDF代表は、ブダペスト3・4・9・10・21の各区の支部活動を休止させ、二党連携に非協力的な党員を牽制する一方、市支部会が解任を決議した二党協力推進派のレーヴァイ支部長の続投

を明言している。ボクロシュ次期首相候補は、党内の混乱が收拾されない場合には首相候補を辞退する意向を示唆するなど、MDF内部における足並みの乱れが目立っている。

## 2. **ブダペスト交通会社（BKV）関連のスキャンダル**

(1) 2日、ハジョー前ブダペスト副市長（社会党、国会議員）が、市議会議員の辞職及び次期総選挙での立候補取下げを表明したこと（既報：当館月報2010年1月号5頁）に続き、翌3日には、ブダペスト市庁舎の家宅捜索が行われ、不正契約などの疑いでメシュテルハージ・エルヌー市長相談役らの身柄が拘束された。続いて、捜査の手はデムスキ市長（SZDSZ）本人にまで及び、4日間にわたる聴取が行われた。

(2) 8日、デムスキ市長は記者会見で、「一連のBKVスキャンダルについて、自身にも政治的責任があることは認めるが、辞職することを考えたことはない。市長として任期を全うする所存である。」と述べた。加えて市長は、メシュテルハージ市長相談役に持ち上がっている疑惑について、「彼が違法行為に及んでいたとは考えにくく、MDFとSZDSZの選挙協力を快く思わない2大政党（社会党、フィデス）によるでっち上げではないか」との見方を示した。

## 3. **公教育における差別待遇は不当：訴えられた教育文化相**（2日）

公教育における平等の保障及び差別状況の改善について、政府が過去4年間有効な対策を講じてこなかったとして、NGO「恵まれない子どもたちにチャンス」基金（CFCF、モハーチ・エルジェーベト代表）は2日、ヒッレル教育文化大臣を相手に訴訟を起こした。CFCFは、国内相当数の学校においてロマ系の子どもたちが公教育の平等の精神に反するような差別的な扱いを受けている事実を把握していながら、これを放置し続けてきた政府の無策振りを批判し、事態改善のために総額5千万フォリントの国庫からの拠出を求めた。他方、教育文化相は弁護人を通じ、本件で責めを負うべきは政府ではなく、むしろロマ人の差別的扱いが実際に行われている一部の学校の方であり、CFCFは即刻訴訟を取り下げざるべきだと主張したが、裁判所はこの要求を退けた。

（注）ハンガリーには、貧困層の子どもに対して、特別学級を設けるなど、通常学級と比べて意図的に低水準の授業を行っている学校が相当数あると言われる。しかし、この貧困層が、実質的にはいわゆるロマの家庭と重なっている事例が大部分であることから、民族出自の違いによる公教育の平等原則の侵害、つまり学校において公然と民族差別が行われている可能性に対して、人

権擁護の観点から度々批判が寄せられている。

#### 4. **自然保護区に駐車場建設計画：ドゥナケシの泥炭湿地**（10日）

フランス系大手スーパーマーケット・チェーンのオーシャン（Auchan）が、ペスト県ドゥナケシ市郊外の店舗脇に大型駐車場の建設を計画している問題で、サボー環境・水利相は10日、建設を認可した国家環境自然保護水利管理局（OKTVF）の裁定の合法性について、省内で改めて審議させる意向を示した。駐車場建設予定地の周辺には泥炭湿地が広がっている。

一般に、ハンガリーの湿地は、自然保護法（1996年施行）が定めるように、生物多様性の観点から保護されるべき対象として考えられており、OKTVFの裁定は、地元市民や環境保護団体の強い反発を招いている。

審議の結果は、4月21日に出される予定である。

#### 5. **反ファシズム集会：ブダペスト「解放」から65周年**（13日）

13日午後、ブダペスト13区のホッラーン・エルヌー通りで、左派の知識人や運動家を中心として反ファシズム集会が開催された。「ファシストとは対話をしない！」をスローガンに、近年の政治的過激派の台頭に抗議する64の市民団体、数百名の市民が参加した。メシュテルハージ社会党次期首相候補、レンドヴァイ社会党党首、レトケシュ自由民主連盟代表らがスピーチを行った。

（注）第二次大戦当時のハンガリーは、先の大戦の帰結として失われた旧王国領の回復を目指し、ナチス・ドイツとの協力関係を重視して、日独伊三国軍事同盟に加盟した（1940年）。大戦末期にはナチス・ドイツの占領下に置かれ、ファシスト政党である矢十字党の政権が成立した（1944年）。1945年2月13日は、ソ連軍によってブダペストがファシスト支配から「解放」された日（解放記念日）として知られ、本年はその65周年に当たる。

#### 6. **国家防衛大学の現職学長、恐喝容疑で逮捕**（16日）

16日、ズリーニイ・ミクローシュ国家防衛大学のサボー・ヤーノシュ学長が企業恐喝の容疑で身柄を拘束され、国家検察局による大学等関連施設の家宅捜索が行われた。サボー学長は、国際宅配会社DHLハンガリー支社に対し「社内に武器・麻薬の密輸斡旋を行っている職員がおり、警察が捜査に乗り出している。」などと偽の情報を触れ込んだ上、彼自身のコネクションを通じてこれを

揉み消すことの見返りとして、懇意の警備会社と契約するように仕向けた疑いがある。サボー学長は、「素直な気持ちから忠告しただけ」と容疑を否認している。

なお、サボー学長は前オルバーン政権時代に国防省で次官補を務めていたことで知られ（1998－2001）、一部報道では、この警備会社代表が、当時の内務省で重要ポストにあったことも取り沙汰されている。

## 7. **国会会期終了：首相の総括とホロコースト禁止法案可決**（22日）

（1）22日、バイナイ首相は総選挙前最後の国会で、自身が政権を担当した10ヶ月間の成果及び今後の見通しについて総括を行った。首相は、「ハンガリーの危機的状況を治療し、成長路線へと導くことが出来た。」と、昨年4月の「危機管理内閣」成立以来一定の成果を上げたことを強調し、「次期政権が引き続き、2014年1月からのユーロ導入、雇用の増大、高度経済成長に向けて、真摯に取り組むことを期待する。」と結んでいる。

（2）同日、公の場でのホロコースト否定発言の禁止を盛り込んだ改正刑法案が、社会党、自由民主連盟及びハンガリー民主フォーラムの議員の賛成によって可決された。同改正法の施行後は、公衆の前でホロコーストの事実について否定、軽視、若しくは疑問を投げかける発言をした者に対し、3年以下の禁固刑を科すことが可能となる。

## 8. **共産主義独裁の犠牲者追悼の日**（25日）

戦後共産主義体制によって粛清された犠牲者を追悼する式典が25日、ハンガリー各地の学校や関連施設で催された。ブダペスト市テロの館（恐怖政治記念館）で行われたセレモニーには、フィデスからナヴラチチ議員団長、シッヤールトー党官房長、バログ国会人権・少数民族・宗教対策委員長らが参列し、「1956年の英雄たちの壁」へ追悼の蠟燭を捧げた。バイナイ首相ならびにレンドヴァイ社会党党首は、文書で追悼の意を発表している。

（注）2月25日が「共産主義独裁の犠牲者追悼の日」として公式に定められたのは、前フィデス政権期の2000年7月13日のことである。終戦直後の1947年2月25日、独立小農業者党のコヴァーチ・ベーラ書記長が駐留ソ連軍によって非合法的に身柄を拘束され、ソ連邦の収容所へ連行された事件を記念して、毎年2月25日にはハンガリーの中等学校などで追悼の儀式が行われることになった。

## II. 外 交

### 1. **バラージュ外相の中国訪問**（1－6日）

#### （1）訪問の概要

1－6日、バラージュ外相は中国を訪問し、在重慶ハンガリー総領事館の開館式及びアジア大洋州地域大使会議に出席した。また、王光亜中国外交部副部長や重慶市長等と会談、西南政法大学にて講演会を行った。バラージュ外相の中国訪問は、2009年4月の就任以来2度目。

#### （2）王光亜外交部副部長との会談

2日、バラージュ外相は王外交部副部長との会談において、1年間で2度目となる中国訪問が中国重視の意向を示すものであることを強調しつつ、ハンガリーが2011年前半のEU議長国期間中、EU・中国間の協力関係の発展に力点を置く意向を示した。また、両外相は両国間の要人往来や貿易関係等の他、アフガニスタンやイラン情勢等についても話し合った。

### 2. **バイナイ首相のエジプト訪問**（8－9日）

8－9日、バイナイ首相はエジプトを訪問し、ムバラク大統領及びナズィーフ首相と会談したほか（8日）、エジプト・ハンガリー・ビジネスフォーラムの開会式に出席した（9日）。今回の訪問には、グラーフ農業・地域開発相、サボー環境・水利相、ホーニグ運輸・通信・エネルギー相、さらにはバイエル・ナブッコ担当大使、コーカ国会ナブッコ委員会委員長のほか、ビジネスマン約40名も同行した。

ムバラク大統領及びナズィーフ首相との会談では、ナブッコ・パイプラインや両国間の経済関係等について協議が行われた。また、ナズィーフ首相からは、環境保護や廃棄物処理、農業分野におけるハンガリーからの投資に期待が寄せられた。

### 3. **スロバキア改正国語法をめぐる動き**（9日）

9日、ヴォッレベクOSCE少数民族高等弁務官はハンガリーを訪問し、バラージュ外相と会談した。同高等弁務官は、スロバキア国語法の改正は他の近隣諸国よりもハンガリーに対する影響が大きいと述べ、同法改正は幅広い解釈



が可能である点であまり成功したとは言えないと発言した。また、ハンガリー・スロバキア少数民族混合委員会での協議を歓迎するとした上で、今後も同法の適用の行方を見守って行くと述べた。バラージュ外相は、同高等弁務官の本件への関与を重要であるとし、歓迎する旨述べた。

#### 4. **ヴェスターヴェレ独外相のハンガリー訪問** (17-18日)

##### (1) 訪問の概要

17-18日、ヴェスターヴェレ・ドイツ副首相兼外相はハンガリーを公式訪問し、バイナイ首相及びバラージュ外相と会談した。また、同外相はオルバーン野党フィデス党首とも会談した。

##### (2) バイナイ首相との会談

会談では、経済問題やハンガリーの経済危機対策の成果、ギリシャの危機対策等について話し合われた。バイナイ首相は、両国間の文化、経済及び投資関係の著しい発展を特に重要なものとして強調した。

##### (3) バラージュ外相との会談

両外相は、二国間関係の他、中欧及び中・東欧地域の諸課題、2011年前半のハンガリーEU議長国のプログラム、エネルギー供給及びエネルギー安全保障等につき話し合った。また、ヴェスターヴェレ外相は、ハンガリーのEU議長国就任準備について意識が高く信頼できるものであり心強いと述べた。

#### 5. **V4首脳会合と関連会議の開催** (24日)

##### (1) 概要

24日、ヴィシェグラード・グループ (ハンガリー、ポーランド、チェコ、スロバキア。以下、「V4」) の首相がブダペストに会し、首脳会合を開催した。また、首脳会合に併せて、V4拡大エネルギー安全保障サミットが開催され、V4のほか、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、オーストリア、ルーマニア、スペイン、セルビア、スロベニアの首脳又は閣僚、並びに米国及び欧州委員会の代表、田中伸男国際エネルギー機関 (IEA) 事務局長が出席した (詳細はⅢ. 経済16頁22. 参照)。さらにバイナイ首相は、この機会にセルビア、クロアチア、ルーマニア、ブルガリアの首相と二国間首脳会談を実施、モルドバ及びオーストリアの首相とは三者会談を行った。

##### (2) V4首脳会合

首脳会合において四か国首相は、経済危機やEU2020戦略、中・東欧情

勢等について協議した。また、四か国首相とコソル・クロアチア首相との会談も実施され、クロアチアの早期EU加盟に対するV4の支援が再確認された。

### (3) 主な二国間首脳会談

#### (イ) ハンガリー・セルビア首脳会談

24日、バイナイ首相はツベトコビッチ・セルビア首相と会談し、経済やインフラ整備を始めとした二国間協力、セルビアのEU加盟、エネルギー問題及びサウス・ストリーム・パイプライン等について協議した。また、両首相はセルビアのヴォイヴォディナ地方におけるハンガリー系住民の現状についても話し合った。

#### (ロ) ハンガリー・ルーマニア首脳会談

25日、バイナイ首相はボック・ルーマニア首相と会談し、経済危機対策の成果やアラドーセグド間ガス・パイプラインやナブッコ・パイプラインといったエネルギー政策について協議を行った。会談では少数民族問題も議題となり、バイナイ首相はルーマニアの少数民族に関する法律及び新たな教育法の採択が重要であると述べた。

## 6. ショーヨム大統領のポーランド訪問 (25日)

25日、ショーヨム大統領はポーランドのカトヴィツェ市を訪問し、カチンスキ大統領と会談を行ったほか、カチンスキ大統領と共に同市で開催された「ハンガリーの日」に出席した。

カチンスキ大統領との会談では、少数民族問題が主なテーマとなった。会談後の記者会見においてショーヨム大統領は、少数民族問題は各加盟国に存在しており、ハンガリーとポーランドも問題を抱えているとしつつ、EUは少数民族政策を軽視してはならないとの点でカチンスキ大統領と一致したことを述べた。

## 7. ドナウ・サミットの開催 (25-26日)

### (1) 概要

25-26日、ハンガリーのイニシアティブにより欧州委員会主催でドナウ・サミットがブダペストで開催された。EU加盟8カ国（オーストリア、ブルガリア、チェコ、ハンガリー、ドイツ、ルーマニア、スロバキア、スロベニア）及び非加盟6カ国（ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、モルドバ、モンテネグロ、セルビア、ウクライナ）の首脳、ハーン地域政策担当欧州委員、

並びに南ドイツの2つの地域、オーストリアの4つの地域の代表が出席し、共同宣言が採択された。

## (2) 共同宣言

共同宣言では、魅力ある安全で豊かなドナウ河地域を実現すること、自然環境を保護しつつドナウ河流域を利用すること、EUドナウ戦略を2011年前半に採択するためにあらゆる努力をすること等が確認された。

## Ⅲ. 経 済

### 1. **スロバキアとのガス・パイプラインの準備が進展** (2日)

ハンガリーのガス供給会社FGSZによると、ハンガリーとスロバキアは、二国間のガス・パイプラインの実現可能性調査を準備している。パイプラインの容量を決めるための事前調査は既に終了しており、最初の入札は2010年春に予定されている。投資の最終決定はまだ行われていないが、FGSZとスロバキアのEUSTREAMは技術的パラメーター、関税、その他の課題について協議中である。

### 2. **観光産業は3～4%成長の見込み(2010年)** (2日)

バイナイ首相やアナリストは、専門家イベントにおいてハンガリーの観光産業は既に底打ちし、2010年に3～4%成長するとの予測を述べた。バイナイ首相は、約3千億フォリントのEU資金が観光開発のために利用可能であり、約300のプロジェクトの支援のために既に14百億フォリントの資金が認められていることを述べた。ハンガリーでは就労者の8～9%が観光産業に従事している。

### 3. **資産税は国内の自動車の2.5%に影響** (2日)

財務省の概算によると、170馬力以上のエンジンを搭載する自動車を対象とした資産税について、課税されるのは国内で登録されている300万台のうち2.5%に相当する75,000台である。課税額は、エンジンの出力と使用年数に応じて決定される。

## 4. **社会問題・労働省が雇用創出プログラムを開始** (3日)

社会問題・労働省のシモン次官は、同省が計21億フォリント相当の雇用創出プログラムを実施することを明らかにした。このプログラムによって2000人以上の雇用が創出されるとしている。このプログラムは、新規に2人以上雇用する企業を対象に、1従業員当たり最大150万フォリントの補助金を申請できるようにするものである。補助金の申請は2月1日から3月中旬まで受付ける見込み。

## 5. **パクシュ市の原子力発電所拡張に4社が関心** (5日)

パクシュ市の原子力発電所のチェルハーティ技術・ライセンス部長は、同発電所の能力を倍増するための入札に参加するための予備交渉に4社（ロシアのAtomstroyexport社、東芝系のWestinghouse Electric LLC社、三菱重工とフランスのAreva社の合弁会社、独仏合弁会社）が関心を持っていることを明らかにした。同発電所を所有するMVM社は、2011年初頭に入札を正式発表し、2012年4月までに落札者を決定する予定である

## 6. **鉱工業生産：12月に1%増加、通年では17.7%下落（2009年）** (5日)

中央統計局（KSH）は、2009年12月の鉱工業生産が前年同月比+1.0%（調整前）、+1.4%（調整後）となったとの速報を発表した。2009年通年では-17.7%となった。

## 7. **パナソニック・エタノール・プロジェクト加速化** (8日)

政府は、バイオエタノール製造工場建設を計画しているアイルランド系のパナソニック・エタノールに対しライセンス供与を迅速化することを決定した。投資額は約267億フォリントで、2011年末までに完成の見込み。完成後は、年間50万トンのトウモロコシから2億リットルのエタノールと17万トンの家畜飼料（タンパク質）を製造する。

## 8. **バイナイ首相、エジプトにナブッコ・パイプラインへのガス供給を要請** (9日)

バイナイ首相はエジプトを訪問し、ナブッコ・ガス・パイプラインへのガス供給について関係者に働きかけを行った。バイナイ首相は記者に対し、アラブ・

# Republic of Hungary

---

パイプラインが200km程度延長されればナブッコ・パイプラインに到達し、パイプラインの安全性・信頼性が格段に強化されると述べた。また、ハンガリーがエジプトに対しクロアチアのクルック島に建設中のターミナルへ液化天然ガス（LNG）を供給するよう要請していることを明らかにした。

## 9. **OECD、2010年ハンガリーの財政赤字はGDP比4.1%**（11日）

経済協力開発機構（OECD）は、ハンガリーの2010年における一般政府財政赤字について、政府予測（GDP比3.8%）を上回る4.1%に達するとの予測を発表した。同機構によれば、同年のGDPは前年比-1%となる見込み。2011年については3.1%の成長となるが、持続可能な経済成長が開始するには断固とした構造改革が必要であり、改善が必要な部門として政府調達ルールの厳格化及び医療制度の効率化等が指摘されている。

## 10. **CPI：1月に6.4%上昇**（11-12日）

中央統計局（KSH）によると、1月の消費者物価指数（CPI）は、2009年12月の前年同月比5.6%から上昇して6.4%となった。これはアナリストによる事前予測（5.7%）を大きく上回っており、2008年8月の6.5%に続く高水準である。

CPIは2009年3月に2.9%となった後、春以降は3~4%付近で推移しており、VAT引き上げとともに同年7月に上昇したものの、弱い需要のためにその上昇は5%程度に収まり、その後11月、12月と5%台の高水準が続いていた。

前年に比べて上昇率が高かったのは、燃料（31.7%）のほか、アルコール飲料及びたばこ（11.6%）、医薬品（8.5%）であった。

ロンドンのアナリストは、今回のCPI上昇は上記部門の上昇によるところが大きく、輸出は回復してきたものの国内需要は引き続き弱く、脆弱な金融市場と緊縮財政が国内経済回復への重い負担となるため、今後インフレ圧力が加速することは考えられないとしている。

## 11. **GDP：第4四半期は前年同期比-4%、通年では前年比-6.3%（2009年）**

（12日）

中央統計局（KSH）の速報によると、2009年第4四半期のGDPは前期比-0.4%（季節・暦調整後）、前年同期比では-4.0%（労働日調整前）

及び－4.1%（労働日調整後）だった。四半期毎の経済収縮幅としては、2008年第3四半期以降最小であり、アナリストによる事前予想（－4.5%～－5.1%）と比べてもよい数値となった。

## 12. **IMF・EU、政府の経済安定化努力は評価できるが更なる対策が必要**（15日）

200億ユーロの財政支援パッケージの遵守状況を調査するため訪問中のIMF代表団は、政府は経済安定化のために十分な施策を実施してきたが、緊縮財政及び予備費維持を継続するとともに、2011年の財政赤字をGDP比3%以内に抑え、今後5年間で政府債務をGDP比65%に抑えるために更なる対策をとることが必要と述べた。また、EU代表団は、ハンガリー経済は安定し、回復に向かっているものの、今年度の財政赤字目標達成には予算引締め及び予備費の構造改革が必要とした。

## 13. **一般政府債務残高：2009年末にGDP比78.3%**（16日）

中央銀行（NBH）の速報値によると、2009年末におけるハンガリーの一般政府債務残高（マーストリヒト基準）は20兆3960億フォリントで、GDP比78.3%となった（2008年末は72.9%）。この中には、IMF等による財政支援パッケージのうち、ハンガリーが引き出したものの使用しなかった部分も含まれている。

## 14. **経済相、ハンガリーはEU補助金を有効活用**（16日）

ヴァルガ国家開発・経済相は、EU補助金を利用した新国家開発戦略が着実に実施されていると発表した。同大臣によると、ハンガリーはEUで最も多数の優先プロジェクトを提出し、提出された24プロジェクトのうち16プロジェクトが既に承認された。新国家開発戦略は2007年に開始され、これまで応札のあった4万件の中から選ばれた1万8千件のうち、1万5千件が契約締結に至っている。

## 15. **ダイムラー、ハンガリー工場での雇用を加速**（17日）

メルセデス・ベンツ・ハンガリーの広報部長は、ケチケメート市におけるダイムラーの新工場において、これまで70人以上のハンガリー人が雇用され、

現在技術者の雇用を急いでいると述べた。新規被雇用者はハンガリーにおいて基礎教育を受けた後、ドイツのダイムラー工場で訓練を受ける。

ダイムラーが8億ユーロを投入して建設しているケチケメート市の新工場は、2012年には稼働開始し、2500人の雇用を創出、年間10万台のコンパクト・モデルを生産予定である。

## 16. **1月の新車販売台数、前年同月比-50.3%** (17日)

自動車業界調査会社のJato Dynamicsによると、ハンガリーにおける1月の自動車販売台数は2,970台で前年同月比50.3%の下落、2009年通年では56,000台で前年比60.5%の下落となった。Jato社が集計した1月の欧州諸国のデータのうち、ハンガリーの下落幅は最も大きかった。

## 17. **金融監督庁長官、不良債権が2010年は更に増大へ** (19日)

金融監督庁のファルカシュ長官は、問題を抱えるローンの比率が2010年に更に高まる可能性があり、貸出しポートフォリオは景気回復が始まるまで改善しない見通しであると述べた。2009年は問題ローンの比率がほぼ3倍に膨らみ、90日以上延滞した不良債権はコーポレート・ローンで約10%、個人向けローンで約7.6%であった。

## 18. **ブダペスト市がfDi誌の中・東欧のトップ10都市ランキングで3位に** (19日)

ブダペスト市がフィナンシャル・タイムズのfDi誌において、中・東欧地域のトップ10都市ランキングにおいて、ブカレスト、ワルシャワに次いで第3位になった。当該ランキングは、経済の成長性、コスト効率性、人材、生活の質、インフラ、ビジネス環境、外国直接投資の誘致戦略に基づいて決定された。

## 19. **基準金利を25bp引き下げて5.75%に** (22日)

中央銀行は、市場予想通り基準金利を25ベース・ポイント引き下げて5.75%とした。当該水準は体制転換後最も低い水準である。政策決定会合後のステートメントにおいて、更なる金利引下げはインフレ予想と実体経済次第で

正当化され得るが、国のリスク評価が許容できる場合のみ金利引下げが行われると述べた。

## 20. **中央銀行、2010年のGDPを0.2%下落、CPIを4.4%と予想** (22日)

中央銀行は、24日に発表する四半期インフレ報告書において、2010年のGDPが前年比マイナス0.2%、年平均のインフレ率が4.4%となる見通しであると述べた。前回11月の報告書ではインフレ率を3.9%とし、3%の中期ターゲットを下回るのは2010年第3四半期と予想していたが、今回は2011年第1四半期にずれ込むとした。シモル総裁は、インフレ予想を上方修正した要因を、①景気後退によりCPIバスケットを通常より幅広いものに変更したこと、②フォロント・ベースでの石油価格の急騰、③統制価格の予想以上に急激な上昇の3つであるとしている。

## 21. **2009年のハンガリー人口の自然減の半分を移住が相殺** (23日)

中央統計局(KSH)によると、2009年のハンガリーの人口は18,100人減少し、10,013,000人となった。出生数と死亡者数の差により人口は33,900人減少したが、移住が16,000人純増したため、減少分の約半分が相殺された。

## 22. **バイナイ首相、ガス供給トライアングルの設立を提唱** (24日)

バイナイ首相は、V4サミットで、地域のエネルギー安全保障を強化するためのガス供給トライアングルを設立することを提唱し、V4サミット参加国(V4各国の他、オーストリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、クロアチア、ルーマニア、セルビア及びスロベニア)は共同声明に署名した。ガス供給トライアングルは、北方のポーランド・シフィノウイシチェにおけるLNGターミナル、南方のクロアチア・クルック島におけるLNGターミナル、東方のナブッコ・パイプラインから構成される。同サミットに参加した田中・国際エネルギー機関(IEA)事務局長は、EUのエネルギー供給を改善するため、サウスストリームに比べナブッコはますます有効な資産になると述べた。

## 23. **中銀、2010年の財政赤字は準備金を凍結すれば4%(対GDP)と予測** (24日)



# Republic of Hungary

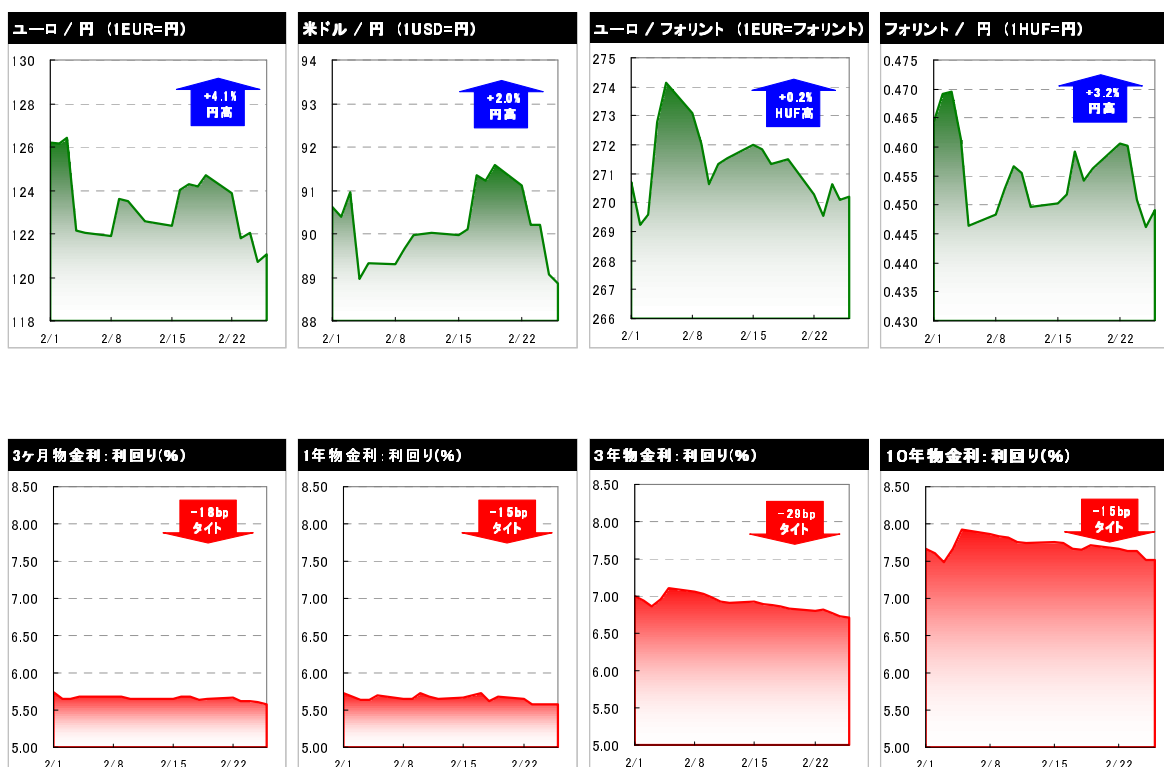
中央銀行（NBH）は、最新のインフレ報告書において、2010年の一般財政赤字はGDP比4.2%、すべての準備金を凍結すれば4%となると予測した。また、2011年は4.3%、ベスト・ケースで4%と予測した。なお、2010年、2011年の政府予測はそれぞれ3.8%、2.8%である。中銀のアナリストは、2010年の財政赤字目標を達成するには、たとえすべての準備金が凍結されたとしても追加的な措置が必要であるとコメントした。

## 24. 11月～1月の失業率が10.8%に上昇（26日）

中央統計局（KSH）は、11月～1月の失業率が10.8%に上昇したと発表した。10月～12月は10.5%であった。アナリストは、今後数ヶ月は失業率が上昇し、本年半ばには11%近辺でピークとなると予想している。

## IV. その他

### 《2月の為替・金利動向》



# Republic of Hungary

---

## 《2月の選挙・支持政党に関する世論調査》(注)

(1) 支持政党の変遷 (確実に投票に行くと回答し、いずれかの政党を選択した者の支持政党)

	(12月)	(1月)	(2月)
(与党)			
社会党 (MSZP):	21%	21%	22%
(野党)			
フィデスーハンガリー市民連盟 (Fidesz):	63%	63%	58%
自由民主連盟 (SZDSZ):	1%	1%	1%
ハンガリー民主フォーラム (MDF):	1%	2%	2%
キリスト教民主国民党 (KDNP):	1%	0%	0%
(非国会政党)			
政治の新しい形 (LMP) :	1%	1%	1%
ヨッビクーハンガリーのために :	10%	12%	14%
その他政党 :	2%	0%	2%

(2) 質問事項: 仮に今週日曜日に総選挙があるとすればどの党に投票するか (質問者全員よりの回答)。

(与党)	
社会党 (MSZP) :	14%
(野党)	
フィデスーハンガリー市民連盟 (Fidesz) :	32%
自由民主連盟 (SZDSZ) :	1%
ハンガリー民主フォーラム (MDF) :	1%
キリスト教民主国民党 (KDNP) :	0%
(非国会政党)	
政治の新しい形 (LMP) :	1%
ヨッビクーハンガリーのために :	7%
その他政党 :	1%
わからない、投票しない :	43%

(注) ソンダ・イプソス社調べ (2月2-9日データ収集、サンプル数: 18歳以上の市民1500人)。

# Republic of Hungary

## 2010年2月の出来事

日	内政	日	外政
2	・ハジョー・ミクローシュ元ブダペスト副市長（社会党）、市議会議員の辞職及び次期国政選挙不出馬を表明。	1	・「V4+日本」政策対話開催（東京）。
3	・BKV汚職疑惑で、ブダペスト市庁舎を家宅捜索。メシュテルハージ・エルヌー市長相談役らの身柄を拘束。	1-6	・バラージュ外相、中国訪問。
4	・ハンガリー国鉄情報工学会社(MAV Informatika Zrt.)、家宅捜索。 ・警察当局、ハンドボール元ルーマニア代表マリアン・コズマ選手殺害事件の捜査終了を発表。	2	・シャルマ印商工相、ハンガリー訪問。
5	・オルバーン・フィデス党首、年次所信演説。	6	・セケレシュ国防相、ミュンヘン安全保障会議出席。
7	・ボクロシュ・ハンガリー民主フォーラム首相候補、所信演説。	7	・アフガニスタンにてハンガリー兵2名が負傷。
8	・ヴェスプレームでコズマ選手の銅像除幕式。 ・社会党、ハジョー氏に替えてカトナ財務専門次官を次期総選挙党公認候補（ブダペスト市12区）に指名。	8-9	・バイナイ首相、エジプト訪問。
10	・サポー環境・水利相、ドゥナケシ「泥炭湿地」の駐車場建設計画に関し、省内審議を要請。	9-10	・ヴォツレベクOSCE少数民族高等弁務官、ハンガリー訪問。
11	・無差別大量殺人を計画の大学生、逮捕。	9	・欧州議会にてアンドル氏、欧州委員に選任。
15	・2010-11年度大学出願締切日。	11	・バイナイ首相、欧州理事会非公式会合出席。
17	・検察当局、防衛大学の現職学長をDHL脅迫の疑いで逮捕。	16	・アブリアルNATO変革連合軍最高司令官、ハンガリー訪問。
20	・メシュテルハージ社会党次期首相候補、選挙キャンペーン・オープニングで所信演説。	17-18	・ヴェスターヴェレ独外相、ハンガリー訪問。
22	・国会会期最終日、バイナイ首相が総括。公の場でのホロコースト否定発言禁止を盛り込んだ改正刑法案が可決される。	18	・ショーヨム大統領、ヨシボビッチ・クロアチア大統領就任式に出席、同大統領と会談。 ・カトナ国会議長、ツベトコビッチ・セルビア首相と会談。
25	・共産主義の犠牲者追悼の日 ・ラーツ温泉改築に関し、背任の疑い。関連業者などで家宅捜索。	19	・ショーヨム大統領、ハンブルク訪問。 ・バラージュ外相、レアンカ・モルドバ副首相兼外相と会談。
26	・社会党、ホルヴァート・チャバ氏を次期ブダペスト市長候補に選出。	22	・バラージュ外相、EU非公式外相理事会出席。
		23	・バイナイ首相、モーニングスター米エネルギー担当大使と会談。
		24	・V4首脳会合開催（ブダペスト）。 ・V4拡大エネルギー安全保障サミット開催（ブダペスト）。
		25	・ハンガリー・セルビア首脳会談。 ・ショーヨム大統領、ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領就任式に出席、同大統領と会談。 ・ショーヨム大統領、ポーランド訪問。カチンスキ大統領と会談。「ハンガリーの日」式典に出席。
		25-26	・バイナイ首相、クロアチア、ルーマニア、ブルガリア、モルドバ、オーストリア首相と会談。 ・ドナウ・サミット開催（ブダペスト）。

## Embassy of Japan in Hungary

1125 Budapest Zalai ut 7. Hungary  
TEL :+36-(06)-1-398-3100

E-Mail

政務関係 : [political@japanembassy.hu](mailto:political@japanembassy.hu)

E-Mail

経済関係 : [economic@japanembassy.hu](mailto:economic@japanembassy.hu)

E-Mail

広報文化関係:[culture@japanembassy.hu](mailto:culture@japanembassy.hu)

E-Mail

領事関係 : [consul@japanembassy.hu](mailto:consul@japanembassy.hu)